



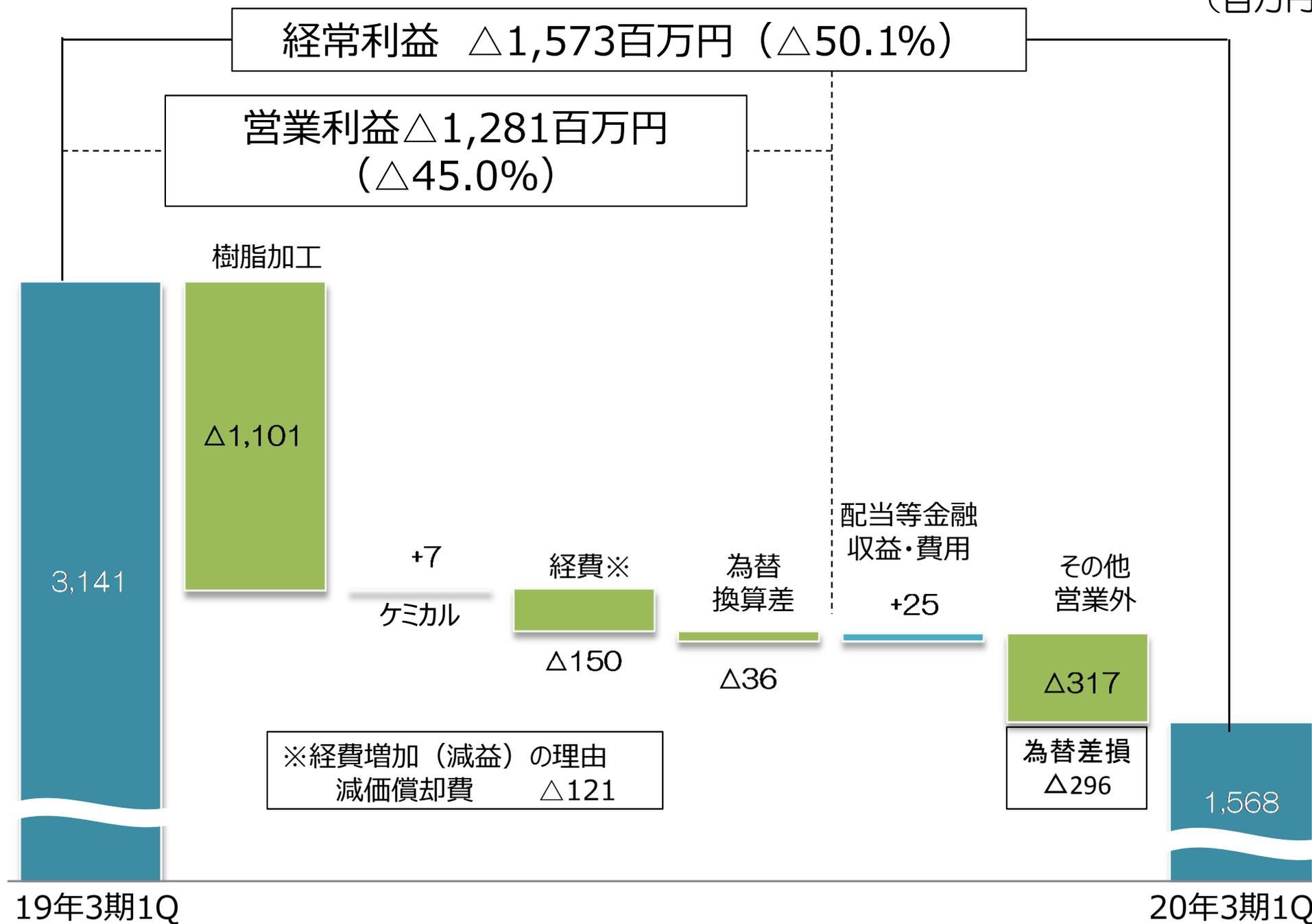
2020年3月期 第1四半期決算 補足資料

2019年8月9日

森六ホールディングス株式会社

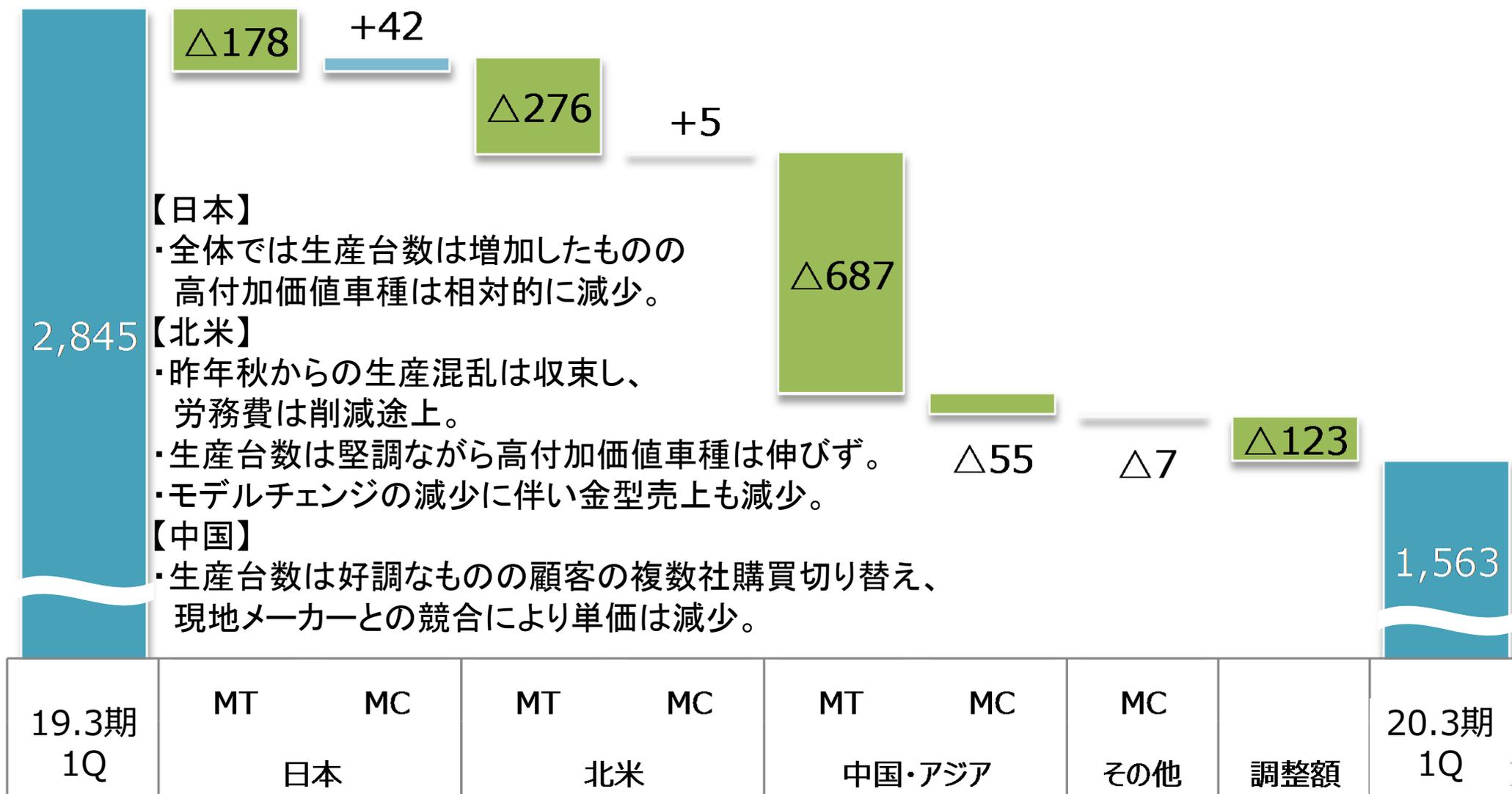
2020年3月期 第1四半期(連結) 経常利益増減要因分析

(百万円)



2020年3月期 第1四半期 所在地別・事業別営業利益増減要因

(百万円)



第2四半期以降の業績改善のための取り組み

<樹脂加工製品事業>

- ・原価低減、品質向上による競争力強化
- ・塗装・成形の良品率引上げにより、材料費・労務費(時間外・休日出勤)・光熱費等を削減(特に北米)
- ・生産変動に応じて適正人員に調整、生産の自動化・効率化展開も進めて付加価値生産性を高める(北米、中国はじめ全社)
- ・昨年秋に発生した米国工場の生産混乱は収束し、生産・出荷共に現在は正常化再発防止のため、日本人によるマネジメントを強化
- ・既存顧客以外の販路拡大により1台当たり売上減少(製品構成)へ対応

<ケミカル事業>

- ・中国・アジアへ新たな経営資源投入し拡販(中国内陸部・インド・タイ)
- ・メディカル・ヘルスケア事業戦略の一環として、高機能多層フィルム新工場建設(11月量産開始予定)

2020年3月期 第1四半期1Q トピックス①

樹脂加工製品事業

鈴鹿工場 新塗装工場建設

- ・建物躯体および外装屋根工事は完了
- ・2019年9月より塗装設備搬入予定



建坪	2,516㎡
設備投資額	約15億円
日程	2019年 1月 着工 2020年 1月 量産開始(予定)
特徴	生産能力：120%増加 省電化によりCO2排出量15%削減

メキシコ工場 拡張

- ・敷地面積を最大活用して、4倍に増床
- ・工場床の完成に合わせて、順次設備を設置
2019年7月 塗装設備設置完了
2019年8月 成形設備設置完了

▼Moriroku Technology De Mexico S.A. DE C.V. (メキシコ工場)



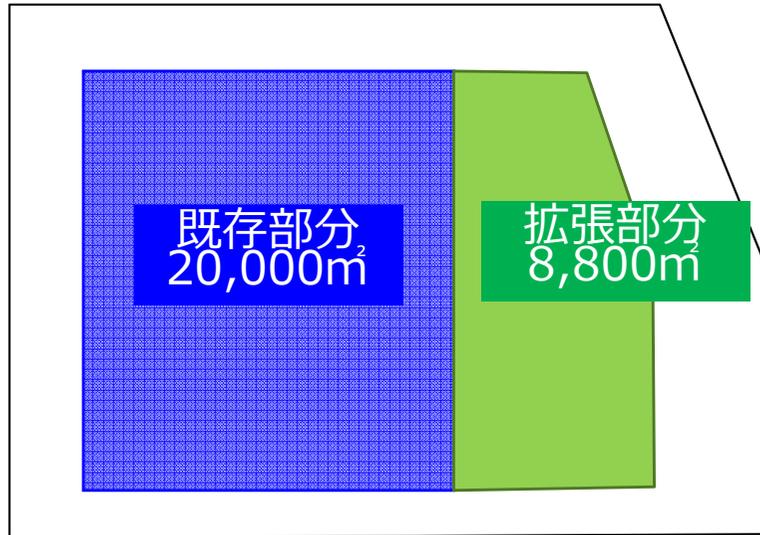
- ・品質の確保、技術情報の漏えい防止等に留意しながら、複数メーカーの部品を生産できるように、工場内エリアを間仕切り

2020年3月期 第1四半期1Q トピックス②

樹脂加工製品事業

タイ工場 建屋を1.4倍に拡張

- ・2019年以降の更なる受注拡大に対応するため、2度目の工場拡張を実施



建坪	20,000m ² から28,800m ² に拡張
設備投資額	約4億円
日程	2019年7月 契約 2020年3月 完成(予定)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷エリアを拡張し、顧客へ直接納品することで、外部倉庫費用を削減 ・自動化拡大によるコスト競争力up

ケミカル事業

高品質・高効率の機能性フィルム新工場

- ・外観は完成し、内装工事および設備搬入開始
- ・2019年11月には量産供給体制が確立予定



◀ 四国化工新工場

設備投資額	約32億円
生産能力	36%増加
空気清浄度(品質)	既存：クラス10万 新工場：ブース内はクラス1万
新製法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・薄肉、加熱接着の時間短縮で40%のコストダウン ・121℃の高圧蒸気滅菌が可能となり、グローバル標準に対応